

丸成林建設(株)

岐阜市・建設業

従業員数 / 男性15名 女性5名 計20名 ※令和6年11月現在

エクセレント
POINT

- ①定時退社の徹底で所定外労働時間は月1時間未満
- ②「女性の活躍プロジェクト」や資格取得費用の助成による女性活躍の推進
- ③子育て・介護との両立を支援する柔軟な勤務形態の導入



年1回行われる「交通安全教室」では車を運転する上で特に気を付ける点などを講師から学び、日々の仕事に活かしている。

社員一丸で101万時間無災害

丸成林建設では、社員一丸となり事故防止の取り組みを行っている。年1回岐阜中警察署から講師を招いて交通安全教室を開いたり、

52時間無災害を取得した。今後は第3種の取得を目指し、安全への決意を新たにしている。

毎月の労働安全衛生月例会議で他社の事故発生状況を共有するなど、安全への意識向上に努めている。その結果、2016年に厚労省の「第1種無災害記録証」を取得。その後、

疲労を蓄積させないことが労働災害を抑える上で重要となることから、有給休暇の取得を促し、体調管理に配慮。昨年度の有休取得率は70%以上と業界の平均値よりも高い取得率となっている。また、定時退社も徹底し、所定外労働時間を月1時間未満に抑えている。林茂樹社長は「現場監督は、空いた時間を使つて現場事務所で書類作成をするなど、効率的に仕事ができるようそれぞれが工夫している」と話す。

女性の活躍推進にも力を入れる。職域拡大を図り、希望する女性には工事現場での実務も経験させており、3人が1級土木施工管理技士の資格を取得。23年7月には土木部の女性1人が2級土木施工管理技士補の資格を取得した。他にも建設業経理検定の資格取得費用の助成も行い、これまでに2人が



年1回の社員旅行は社員同士の親睦を深める良い機会となっている。

1級、1人が2級を取得している。19年入社の武内さんは「資格取得費用を会社が全額負担してくれるので、積極的に挑戦できる。取得後は資格手当が支給されるのでやる気にもつながる」と話す。現在は現場代理人として現場を管理すると同時に、生産性向上のために3Dデータの作成方法などを中心に勉強中。これからの会社を担っていく人材として活躍している。